



かもみーる通信



66号 2015年12月

トピックス

- * 連携事業進捗状況
- * キャリアパス支援講演会
- * 男女共同参画推進セミナー
- * 出前講義
- * 女子学生と社会人交流事業
- * 研究倫理研修会
- * 保育園たより

平成27年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」 進捗状況

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

今年度採択されました文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」（共同実施機関：岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社）の進捗状況について、代表機関の実施責任者として、中間のご報告をいたします。

4機関での連携事業「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」として、8月5日(水)、森脇久隆 岐阜大学長（本事業総括責任者）、稲垣隆司 岐阜薬科大学長、後藤忠彦 岐阜女子大学長、野々垣孝彦 アピ株式会社社長による共同実施に関する協定書締結の合同記者会見（「かもみーる通信」8月号参照）に続き、第1回共同実施機関長会議を開催して以降、11月9日（月）には、学外から70名、学内から94名の参加者を得て、キックオフ・シンポジウム「女性研究者の活躍による岐阜創生をめざして」（9月号・11月号参照）を開催しました。女性研究者の活躍推進による地域社会の発展に向けて、実施メンバーの皆さんとともに、本事業の重要性を改めて確認させていただいた次第です。

4機関それぞれが主宰するロールモデル講演会や倫理研修会につきましても、精力的に開催するとともに（11月号・12月号参照）、女性研究者研究環境整備のための取り組みとして、研究補助員配置制度（岐阜大学8名 岐阜薬科大学2名、岐阜女子大学2名予定、アピ株式会社1名（他2名予定））を運用するとともに、研究力向上のための取り組みとして、10月末には、「連携型共同研究プロジェクト」（岐阜大学6件、岐阜薬科大学3件、岐阜女子大学1件、アピ株式会社2件）を選定し、4機関の女性研究者の研究力向上と研究者同士の交流を推進しているところです（9月号参照）。さらに、女性研究者の上位職への積極登用に向けた取り組みとしては、11月18日（水）岐阜女子大学主宰で、佐々木正峰（公財）文化財建造物保存技術協会理事長に、12月17日（木）アピ株式会社主宰で、郷 敦 岐阜県商工労働部長に、それぞれ講師をお願いして「トップマネジメント・セミナー」を開催し、連携機関の機関長や部局長を対象として、事業の趣旨や組織におけるダイバーシティの必要性和効果についての理解を深めています。

このような各種取り組みを進めているところ、12月14日（月）には、科学技術館にて、「平成27年度科学技術人材育成費補助事業シンポジウム 科学技術人材育成 これまでの10年、これからの10年——人材育成について多様な立場から考える——」が開催され、相原征代 チーフ・コーディネーター、中村江里 コーディネーター、共同実施機関の方々とともに参加しました。「テニュアトラック普及・定着」「ポストドクター・キャリア開発」「科学技術人材育成のコンソーシアム構築」「女性研究者研究活動支援」「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」などのJST補助事業による成果として挙げられている、大学におけるテニュアトラック制度の進展、博士人材のキャリアパスの多様化や就職率の向上、研究者総数に占める女性研究者割合の増加などの実績を確認するとともに、さらなる諸課題の改善をめざして策定間近である、第5期科学技術基本計画、第4次男女共同参画基本計画の内容についても紹介され、「若手や女性がさらに輝くために、産学官でなすべきことは何か」について、諸施策の実施担当者による熱い発表やディスカッションが展開されました。

本連携事業につきましても、岐阜薬科大学主宰のフォーラムはじめ、各連携機関による「意識啓発セミナー」「リーダーシップ研修」「企業インターンシップ」等々、既に年明け年度内の諸企画を鋭意準備しており、順次、ホームページやニュースレター等でご紹介してまいります。皆様のご支援、ご協力、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

女性研究者キャリアパス支援講演会



平成27年度科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

「女性研究者が地方で仕事を続けるために — シェアハウスの可能性」というタイトルで、キャリアパス支援講演会をおこないます。家族社会学・福祉社会学がご専門の久保田裕之先生に、シェアハウスに関する調査・理論研究を踏まえ、女性研究者が地方で仕事を続けるための方策について講演していただきます。女性研究者はもちろん、男性の方、学生の方もふるってご参加ください。

「女性研究者が地方で仕事を続けるために — シェアハウスの可能性」

日時：平成28年1月19日（火）16：20～17：15

場所：岐阜大学地域科学部第一会議室

講師：久保田 裕之 氏（日本大学 准教授）

男女共同参画推進セミナー

12月3日（木）プラザエフ（東京会館）、4日（金）国立女性教育会館（埼玉武蔵嵐山会場）で開催された「平成27年度大学等における男女共同参画推進セミナー」に参加しました。

第1日は、最初に、濱口道成氏（国立研究開発法人科学技術学術振興機構理事長名古屋大学名誉教授 文部科学省科学技術・学術審議会会長）による基調講演「21世紀の日本は女性が救う」がおこなわれました。前半では、多くのデータに基づいて、21世紀は科学と社会との関係性を真剣に考え、課題に取り組んでいかなければならないことが論じられ、後半では、3月まで総長をされていた名古屋大学の男女共同参画推進の取り組みが紹介されました（名古屋大学は女性の地位向上のために先進的な活動をしている世界の10大学に選出されました）。次に、野村 浩子氏（ジャーナリスト 淑徳大学）による講演「なぜ、女性活躍推進に取り組むのか？～企業の取組の視点から～」がおこなわれました。女性の活躍推進が、企業の成長、日本の成長につながり、そのために今、企業がしなければならないことに言及され、最後に、現代はロールモデルが多様化し、活躍の分野も広がり、「人は誰でもリーダーになれる」ことを学生に伝えたいとのメッセージとして結ばれました。

第2日は、分科会「男女共同参画推進の視点に立った職場環境づくり」で、渡部修氏（関西大学総務部人事課長）、物部剛氏（京都産業大学学室長戦略企画担当課長）、森永康子氏（広島大学副理事・男女共同参画推進室長 広島大学大学院教育学研究科教授）から事例報告があり、その後、グループディスカッションをおこないました。「男女共同参画推進」という目的に向かって歩んでいる人々が、全国から集い、学び、語り合う場を提供してくれるこのようなセミナーの重要性を改めて実感しました。



サイエンス夢追い人育成プロジェクト

(女子大学院生による出前講義)

12月7日(月)と12月14日(月)に岐山高校で、12月9日(水)に岐阜農林高校で出前講義をおこないました。岐山高校は7日に、応用生物科学研究科生産環境科学専攻修士1年の大橋千遼さんと浅井千由希さん、14日に応用生物科学研究科生産環境科学専攻修士1年の森ことのさんと工学研究科生命工学専攻修士1年の太田奈菜さん、岐阜農林高校は、応用生物科学研究科生産環境科学専攻修士1年の中山ふうこさんが、講師として教壇に立ちました。

12月7日、14日 岐山高校

岐山高校では、講師が紹介する研究テーマに関するキーワードを事前にお伝えしていたため、生徒さん自身が事前学習にも取り組み、とても熱心に聴講してくれました。



▲大橋千遼さんの講義風景



▲浅井千由希さんの講義風景



▲森ことのさんの講義風景



▲太田奈菜さんの講義風景

大橋さんは、暗い林内で低木はどのように生きる工夫をしているのかについて、浅井さんは、落葉広葉樹林での落葉の分解について、森さんは、花の蜜の分泌量や糖濃度が、花の種類や開花時期、時間帯によってどのように変化するのかについて、太田さんは、土壌から有用な微生物を探し出して酵素を精製する仕組みについて、それぞれ講義をおこないました。

12月9日 岐阜農林高校



▲中山ふうこさんの講義風景

岐阜農林高校では、これから実習を始めるという1年生が、中山さんの研究テーマである「牛のとびはね行動」の動画を見ることで、自分たちの実習に対するイメージを持つことができたとのこと。

女子大学院生による一連の出前講義は、各高校の生徒の皆さんが、自分自身の今後の進路についての具体的なイメージを描く上で、大いに参考にしていただけたようです。

女子学生と社会人交流事業



平成27年度科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

平成27年11月26日（木）16:30～18:30 岐阜大学の柳戸会館1階 集会ホールにて、女子大学生・女子大学院生と社会人女性の交流会「私らしさを発見しよう！夢の見つけ方・描き方」を開催しました。（『Dear ぎふジョ！プロジェクト』の一環として開催（主催/岐阜県 共催/岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社））。最初に、ファシリテーターのコネック代表 浦野 真奈美氏より、「今日は、この会場では、誰のどんな発言に対しても、肯定的に受け入れて下さいね。」との、お言葉がありました。学生と社会人は4～5名のグループに分かれ、ディスカッションが行われました（参加者：女子大学生20名、女子大学院生5名、社会人女性6名）。自己紹介に続き、「働く女性とは？」「10年後は、どんな生活をしている？」等についてのイメージや願望を話し合いました。学生にとっては社会人の意見も興味深いようで、真剣に耳を傾け、笑顔でいっぱい活発なディスカッションがおこなわれました。最後に浦野氏より、「キラキラな未来の自分」のためにできる事をどんな小さな事でもいいので、今日から始めて下さいとアドバイスがありました。会が終了した後も、時間を惜しむように、社会人と語り合っている様子が、とても印象的でした。交流会に参加した学生の皆さんは、それぞれの夢に向けて自分らしい努力を始めていることと思います。



研究倫理研修会



平成27年度科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

11月19日（木）に岐阜大学で、12月4日（金）にはアピ株式会社で、それぞれ研究倫理研修会がおこなわれました。岐阜大学では、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業の一環である連携型共同研究に携わっている研究者を対象に、その経費執行上の諸注意事項について、アピ株式会社では、研究者が守るべき研究倫理についての説明が行われました。いずれの研修会でも、研究者にとって、公正で責任ある研究活動上の必須事項がテーマとなり、補助事業成功に向けての重要な機会となりました。

保育園たより

11月20日、勤労感謝のプレゼントを手にした園児たちは、本部棟4F人材開発部も訪れ、大歓迎されました。



♥保育園 春日晃章園長へ♥



♪人材開発部 伊藤弘司部長へ♪



☆職員育成課 清水則之課長へ☆

岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

